



シングルレバー 混合栓

取扱説明書

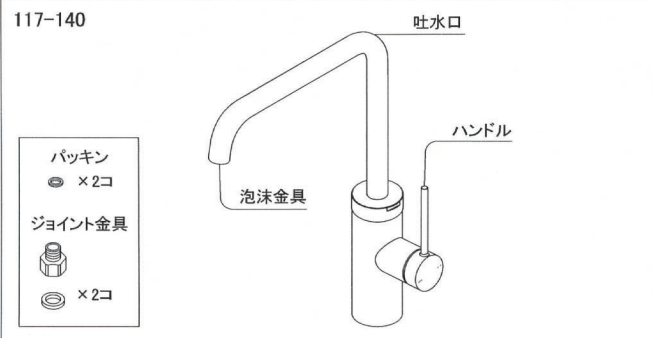
使用前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。
この取扱説明書は、別紙「安全上のご注意」をあわせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお買い求めいただき、
まことにありがとうございました。

製品同梱明細・各部のなまえ

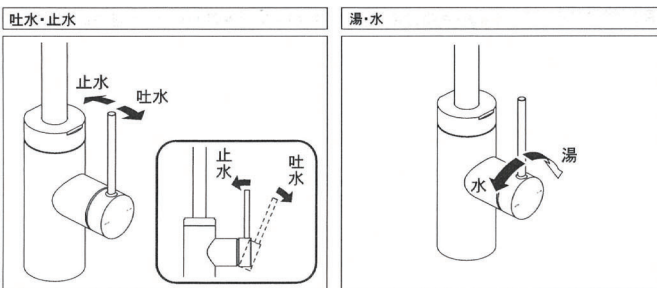
施工される際は、下記の部材があることを確認のうえ、施工説明書とあわせてご使用ください。



- * 上記部材に加えて、
●取扱説明書 ●施工説明書 ●安全上のご注意 ●保証書 ●六角レンチ (対辺2.5ミリ) を同梱しています。
- * 品番によっては、図と製品の形状が一部異なります。
- * 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

使用方法

ハンドルの操作方法

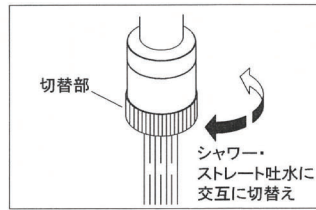


ハンドルをかたむけると「吐水」、立てると「止水」
ハンドルをかたむけた状態で奥へまわすと「湯」、
手前へまわすと「水」が出ます。

- ハンドルはゆっくり操作してください。ハンドルを急に閉じると配管に衝撃が加わり、配管から漏水を起し、家財等を濡らす財産損害発生の恐れがあります。
 - 湯をご使用後は、必ず水側にハンドルをかたむけて、しばらく水を流してから止水してください。次回使用時に水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをする恐れがあります。
- 注意
ハンドルを操作する際は、ハンドルと本体の間に指等をはさまないようにご注意ください。

使用方法(つづき)

切替シャワーの使用方法



切替部を左または右にまわすと「シャワー」と「ストレート吐水」に切替わります。

- 注意
- シャワーホースは強く引張ったり、無理に曲げないでください。折れたり破損したりする恐れがあります。
 - 高温の湯を使用する際は、切替シャワー先端の金属部が熱くなっています。直接触れないでください。

凍結防止方法

一般地でご使用の場合

凍結の恐れがある場合は、下記の予防を行ってください。

- 水栓周囲の温度が0℃以下にならないようにしてください。なお、0℃以下になる場合は、以下のような方法で予防をしてください。
- 配管を保温する。
- 水栓から水を少量出しておく。(目安として1分間に牛乳ビン1本分程度)



*凍結により破損した場合は、保証期間内でも無償修理の対象外となります。

寒冷地でご使用の場合

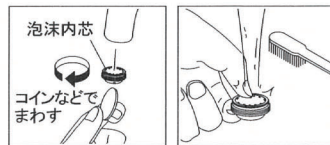
凍結の恐れがある場合は、使用後に水抜きを行ってください。

- ①配管の水抜栓を操作して、水が出ないようにします。
 - ②ハンドルを中央位置でかたむけ、吐水状態にします。
 - ③ハンドルを湯側いっぱいこまわして、水を抜きます。
 - ④吐水口から水が出なくなったら、水側いっぱいこまわして水を抜きます。
- *水栓に解氷機は絶対に使用しないでください。

- 注意
- 水抜きをする際は、混合栓本体等が熱くなっていたり、高温の湯が出てくる恐れがありますのでご注意ください。やけどの恐れがあります。

お手入れのしかた

泡沫内芯のお掃除(切替シャワー以外の場合)



最初お使いになっていた時より著しく水の出が悪くなった場合は、泡沫内芯を取外して、ゴミなどの異物を水洗いして取除いてください。

器具のお手入れ

いつまでも美しくご使用いただくために。



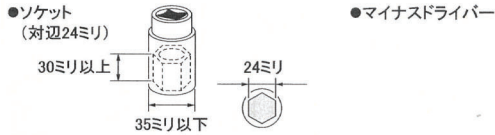
- 水栓器具の金属部
ふだんは乾いたやわらかい布でみがき、ときどきカーワックスなどをしみこませた布でみがいでください。
- 水栓器具の樹脂部・塗装面
乾いた布を使ってお手入れしてください。汚れがひどい時は、うすめた食器用中性洗剤を含ませた布で拭き、乾いた布で水気を拭き取ってください。

- 注意
- 金属たわし、クレンザー・みがき粉等粒子の粗い洗剤、酸性・アルカリ性・塩素系洗剤、ベンジン、油等は、金属部・樹脂部・塗装面を傷めますので使用しないでください。また、塗装面や印字部等にメラミンスポンジを使用しないでください。

カートリッジの交換方法

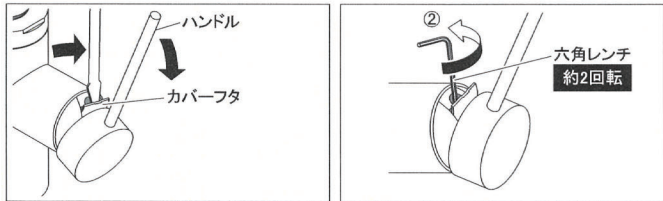
分解図

必要な工具

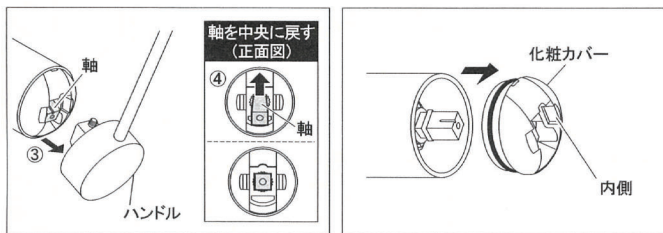


カートリッジの交換方法

* 作業前に、必ず止水栓または元栓を閉じて止水してください。

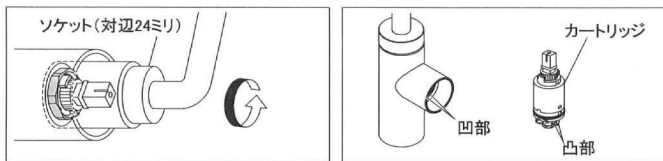


③ ハンドルを斜め下方向に抜取ります。
④ 軸を手で中央に戻します。



⑥ 「ソケット(対辺24ミリ)」で、締付ナットを反時計回りにゆるめて、古いカートリッジと一緒に締付ナットを取外します。

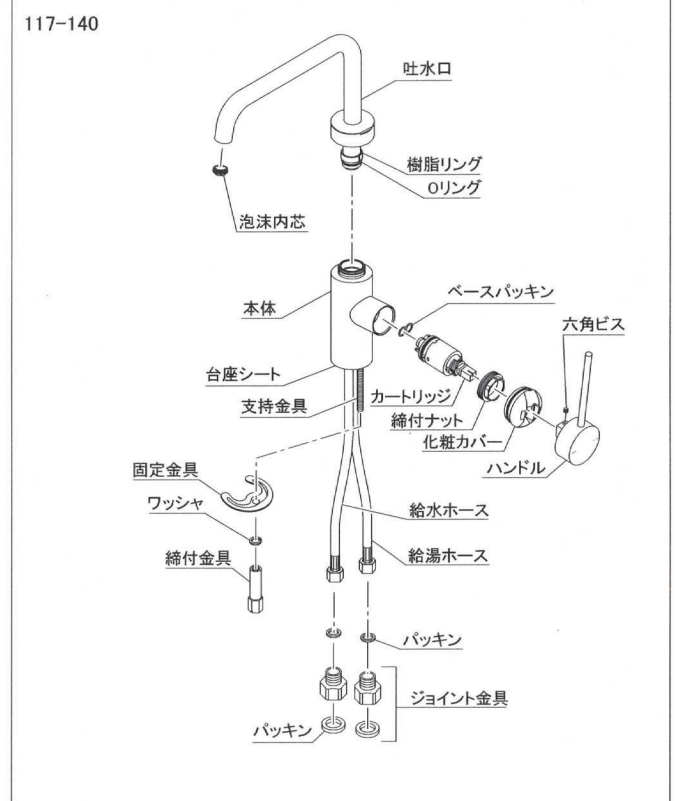
⑦ 新しいカートリッジの底にベースパッキンがついていることをご確認のうえ、底の凸部が混合栓本体の凹部にあうように差込みます。
⑧ ①～⑥の逆の手順で組直します。



* 作業後は、止水栓または元栓を開いて通水し、必ず水もれがないことをご確認ください。

取付時の注意

- カートリッジ底にベースパッキンがついていることをご確認ください。
- カートリッジ底の凸部を混合栓本体の凹部にあわせてください。
- 締付ナットは適度な力で締付けてください。(締付けすぎるとハンドルが操作しづらくなります。)



* 表記イラストは代表品番です。品番によっては図と製品の形状が一部異なります。
* 製品改良のため、部品仕様などを予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

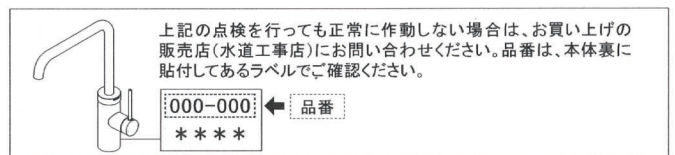
こんな時には… 簡単な点検と対処

機能が正常に働かない時は、修理を依頼される前に「分解図」を参考に次の要領で点検を行ってください。

現象	原因	対処のしかた
温度調整不良	● 水側の止水栓が閉じている	● 水側の止水栓を調節する
	● 給水圧より給湯圧の方が高い	● 止水栓を調節する
低温しか出ない	● 湯側の止水栓が閉じている	● 湯側の止水栓を調節する
	● 給湯圧より給水圧の方が高い	● 水側の止水栓を調節する
	● 給湯機の能力(給湯機の異常)	● 別紙「安全上のご注意」の「使用条件」をご参照ください
吐水量が少ない	● 湯・水側の止水栓が閉じている	● 適正水量になるまで止水栓を開く
	● 泡沫内芯が目詰まり	● 泡沫内芯を掃除する
全く吐水しない	● 本体に湯・水がきていない	● 湯・水の元栓を開く
	● 湯・水側の止水栓が閉じている	● 適正水量になるまで止水栓を開く
止水できない	● カートリッジの異常	● カートリッジを交換する
	● 締付ナットがゆるい	● 締付ナットを締める
ハンドル下から漏水	● カートリッジの異常	● カートリッジを交換する
	● Uパッキンの摩耗または損傷	● Uパッキンを交換する
パイプ根元から漏水	● 締付ナットの締めすぎ	● 締付ナットを適度な力で締直す
	● カートリッジの異常	● カートリッジを交換する
切替シャワーの吐水が切替わらない	● 切替シャワーの異常	● 切替シャワーを交換する

分解禁止 本体内蔵のカートリッジや部品などは、絶対に分解しないでください。故障の原因となります。

修理を依頼されるときは



本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611

広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0121GF

M-A9704

無断転載・複写を禁ず



KAKUDAI

シングルレバー 混合栓

台付タイプ

施工説明書

〔固定金具・ホースジョイントタイプ〕

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。この施工説明書は、別紙「安全上のご注意」と合わせてご使用ください。

このたびは、シングルレバー混合栓をお求めいただきまして、まことにありがとうございました。

施工の前に…

- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。
- 取付け後の点検のために必ず止水栓を設けてください。

施工時について…

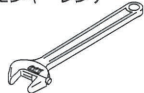
- 別紙「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく施工してください。

製品同梱明細について…

- 別紙「取扱説明書」の製品同梱明細をご参照のうえ、部材をご確認ください。

施工に必要な工具

●モンキーレンチ



●止水栓取付工具



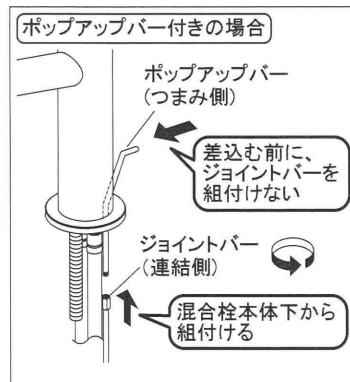
●マイナスドライバー



取付方法

* 数秒間水を流し、配管内のゴミなどを洗い流してから、止水栓または元栓を閉めて取付作業を行ってください。

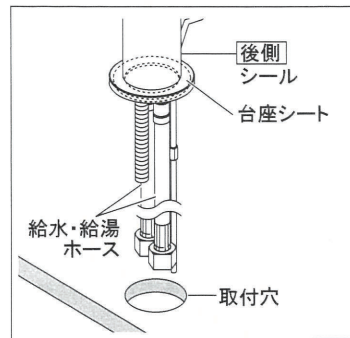
1. 混合栓本体を取付けます。



- ①ポップアップバー(引棒)付きの場合は、先にポップアップバー(つまみ側)を混合栓本体に差込みます。次に、ジョイントバー(連結側)を混合栓本体下から組付けます。
 - * 混合栓を取付台に設置する前に作業してください。
 - * 品番によっては、ポップアップバー(つまみ側)があらかじめ組付けられている製品もあります。

禁止

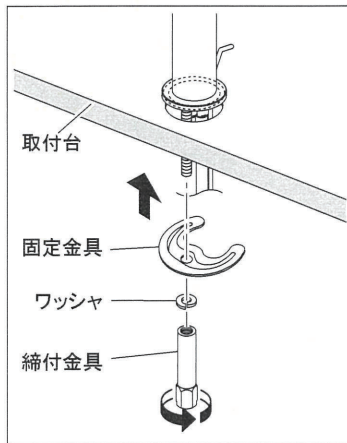
混合栓本体に、ポップアップバーとジョイントバーを組付けた状態で差込まないでください。故障・作動不良の原因になります。



- ②混合栓本体を設置する場所の取付穴径を確認し、穴周囲の汚れを取り除きます。
- ③混合栓本体が正面を向くように取付台に差込みます。
 - * 後側シールが貼付けられている場合は、後側シールを真後ろに合わせます。
 - * 水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度に合わせ位置決めをしてください。

取付方法(つづき)

1. 混合栓本体を取付けます。(つづき)



④支持金具に締付金具パーツを図を参考に通します。

必ず実行

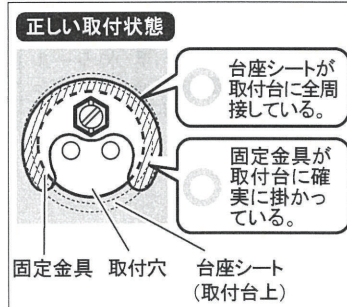
組付ける順序を間違えないよう注意してください。

⑤混合栓本体が正面を向くように締付金具を仮締めし、取付位置を調整してから、「止水栓取付工具」などでしっかり締付け混合栓本体を確実に固定します。

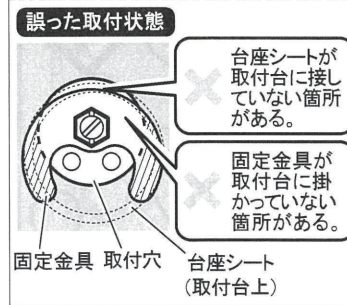
- * 「後側」シールが貼付けられている場合は、「後側」シールを真後ろに合わせます。
- * 水栓取付位置がシンク、または洗面器中央でない場合は、スパウト位置、回転角度にあわせ位置決めをしてください。

必ず実行

- 締付金具パーツは組付ける順序を間違えないよう取付けてください。
- 締付金具を締付ける際は、適切な工具を使用してください。締付ける際に、工具が給水・給湯ホースを損傷し、漏水の原因になる場合があります。
- 締付金具は、締付け過ぎないでください。固定金具が変形するまで締付けると固定力がなくなります。
- 混合栓本体を固定する際に、レバーハンドル部を持って、締付けを行わないでください。カートリッジに無理な力がかかり破損する恐れがあります。
- 混合栓本体が取付穴の中心にくるように固定をしてください。偏って取付けますと、確実に固定されない恐れがあります。
- 混合栓本体を固定した後に、位置調整を行わないでください。無理な力がかかり器具の破損やゆるみの原因になります。



- ⑥左図を参考に、取付状態を確認します。
- * 台座シートが取付台に全周接着するように取付いているか。
 - * 固定金具が確実に取付台に掛かっているように取付いているか。



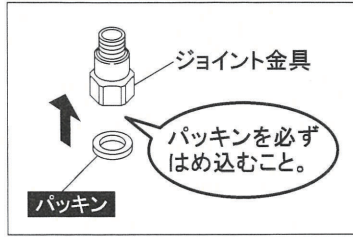
注意

- 混合栓本体が正しく固定されないと、グラつきや取付台下へ漏水、部品の損傷の原因を起す恐れがありますので注意してください。
- 台座シートが取付台に接していない箇所があると、取付台下に水が浸入してグラつき、漏水の原因になりますのでご注意ください。

取付方法(つづき)

取付後の点検

2. 給水・給湯ホースを取付けます。



①ジョイント金具にパッキンをはめ込みます。

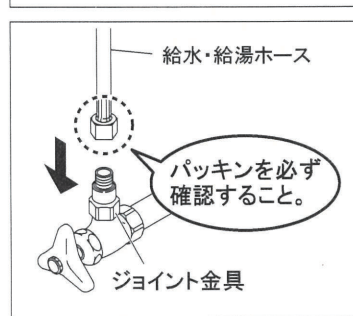


②ジョイント金具にパッキンが付いているのを確認してから、止水栓に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 パッキンが付いていないと漏水します。入れ忘れに注意してください。



③給水・給湯ホースにパッキンをはめ込みます。

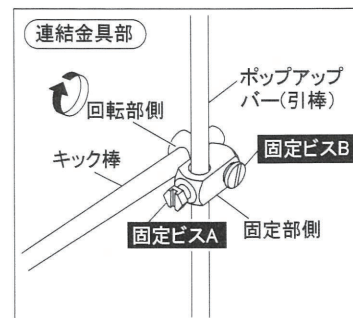


④給水・給湯ホースをジョイント金具に「レンチ」などでしっかりと締付けます。

注意 ホースの(湯)水シールを確認して逆配管にならないように設置してください。

<p>禁止</p>	<p>給水・給湯ホースは根元から急激に曲げないでください。ホースに傷が付き、強度が失われたり、ホースがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。また、漏水を起こす恐れがあります。</p>	
<p>必ず実行</p>	<p>給水・給湯ホースの曲げ半径は、60ミリ以上確保してください。急激に曲げますと、ホースがつぶれて通水経路を狭め、十分な吐水量を得られない場合があります。</p>	<p>曲げ半径 60ミリ 以上</p>
<p>注意</p>	<p>給水・給湯配管は動かないように確実に固定してください。</p>	

3. 連結金具を接続します。(ポップアップバー付きタイプの場合)



①キック棒を下げた状態で、連結金具の固定ビスAを「マイナスドライバー」で締付け、ポップアップバーに固定します。

②円滑に作動するように連結金具の固定位置を微調整します。

③調整後、固定ビスA・Bをしっかり締付けます。

*排水栓はポップアップバーを押すと開き、引くと閉まります。

- ①止水栓または元栓を開き、各部に漏水がないか確認をします。漏水が発見された場合は、止水栓または元栓を閉め、漏水する箇所の施工をやり直してください。
- ②ハンドルを中央位置で上げ、湯水の混合具合を確認してください。低温しか出ない、または高温しか出ない場合は、別紙取扱説明書の「こんな時には…簡単な点検と対処」を参考に調節を行ってください。

株式会社 **カクダイ**

本社 〒550-0012 大阪市西区立売堀1-4-4 ☎(06)6538-1124

東京 ☎(03)3552-0981 名古屋 ☎(052)504-1551 大阪 ☎(06)6730-3391 福岡 ☎(092)611-4611
 広島 ☎(082)278-2821 札幌 ☎(011)704-1511 仙台 ☎(022)239-8371

0518GF

M-A9994

無断転載・複写を禁ず

吐水口(パイプ) 取付方法

補足説明書

施工前に必ずお読みください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

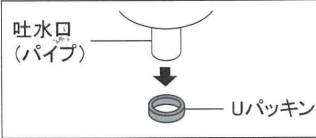
吐水口(パイプ)を取付ける前に、水栓本体の取付けおよび給水(・給湯)ホースの接続を完了させてください。

* 吐水口(パイプ)・水栓本体の形状は品番により異なりますが、取付方法は後述の **Aタイプ** **Bタイプ** のいずれかとなります。お手元の製品をご確認のうえ、製品に合った方法で取付けてください。

取付けの前に

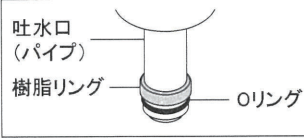
製品の吐水口(パイプ)の根元が下記のどちらであるかご確認ください。

Uパッキンが入っている



Aタイプ の手順で取付けます。

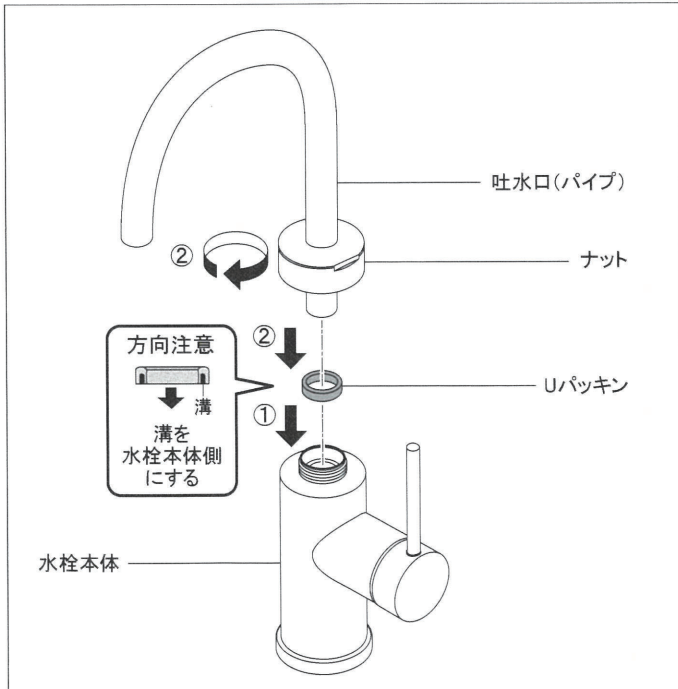
樹脂リング・Oリングが付いている



Bタイプ の手順で取付けます。

取付方法(Aタイプ)

* 吐水口(パイプ)・ナットおよび水栓本体の形状は品番により異なりますが、吐水口(パイプ)の取付方法は共通です。



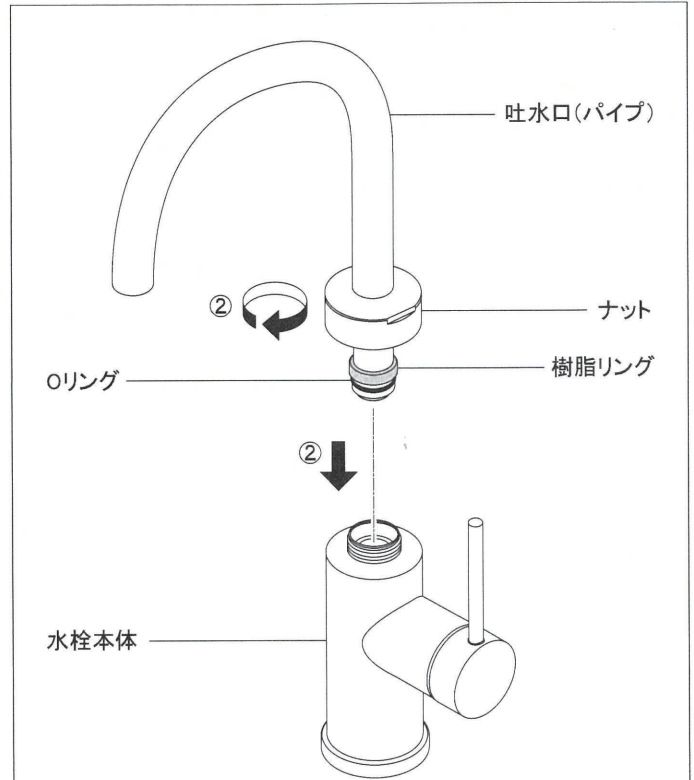
- 吐水口(パイプ)ナット部の白キャップとUパッキンを取外し、Uパッキンを溝のある側を水栓本体側にして水栓本体にはめ込みます。
- 吐水口(パイプ)を水栓本体に差し込み、ナットを締付けます。



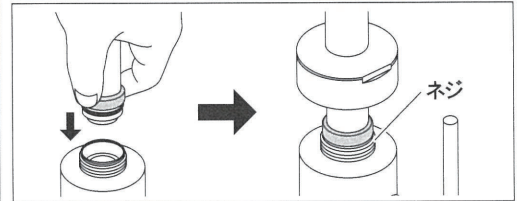
Uパッキンの挿入方向を誤ったり、傷を付けたりした場合、漏水や回転不良の原因となります。ご注意ください。

取付方法(Bタイプ)

* 吐水口(パイプ)・ナットおよび水栓本体の形状は品番により異なりますが、吐水口(パイプ)の取付方法は共通です。



Oリングが正しく挿入されていない場合、漏水する恐れがあります。下記を参考にOリングをしっかり挿入してください。



注意

- Oリングが逃げないように樹脂リング(図の ■ 部)を手で押さえながら、樹脂リングがネジに当たるまでゆっくりと差込んでください。
 - Oリングがはみ出さず、樹脂リングが全周しっかりとネジに接していることをご確認ください。
- * Oリングがはみ出している場合は再度差込み直してください。

- 吐水口(パイプ)のナット部の白キャップを取外します。
- 上記のように吐水口(パイプ)を水栓本体に差し込み、ナットを締付けます。



必ず実行

吐水口(パイプ)を水栓本体に挿入する際は、Oリングに傷が付かないように、ゆっくりと真っ直ぐに差込んでください。

取付後の確認

施工完了後通水し、吐水口(パイプ)と水栓本体の間から漏水がないか確認のうえ、漏水がある場合は再度取付け直してください。